

会場聴講



講演テーマ

木造建築を取り巻く環境の変化 — 木造利用の促進と法令改正 —



下階CLT、上階枠組壁工法の実験

これまで大地震が発生するたびに人命を損なうような被害を生じていた木造建物であるが、現在、資源循環材料である木材の建築利用は国をあげて、さらに世界的な潮流でもある。世界では木材を構造材料とした20階建て以上の建築物も建てられており、わが国でも10階を超えるような建築物ができた。また、極大地震でも無損傷、そして繰り返しの地震に強い木造住宅などの開発も進められている。本講演ではその背景、木造建物の耐震性能の確保、木材の利用促進のための法令改正、そしてその技術的背景について概説する。

令和8年度秋季建築物防災週間関連行事 建築物防災講演会



会場での聴講をご希望の方は…

定員 **200名**

日時 **令和8年9月3日(木)**
14時00分～16時00分
(13時15分より受付)

場所 **建設交流館 8階 グリーンホール**
大阪市西区立売堀2-1-2

申込方法 **令和8年8月5日(水)より、大阪建築防災センターHP内「令和8年度秋季建築物防災講演会」申込フォームにて、申込受付いたします。**

<https://www.okbc.or.jp>

講演会詳細・申込みはこちらから ➡

※受付番号がない方は、ご入場はできませんのでご注意ください。

聴講料
無料
(全席自由)



お問合せ (一財)大阪建築防災センター 企画耐震部
☎06-6942-0190 ✉ info2@okbc.or.jp



いそだ ひろし
講師 **五十田 博氏**

京都大学 生存圏研究所 教授

略歴：2011年に信州大学工学部教授を経て、2013年より京都大学生存圏研究所教授、現在に至る。2020年から2023年まで同研究所副所長を務める。これまでに建築研究所客員研究員、カリフォルニア大学サンディエゴ校在外研究員、ニューヨーク州立大学バッファロー校客員研究員などを歴任。

木造建築の耐震安全性に関する研究、中層大規模木造建築の開発と性能評価、CLTなどの新材料や新たな構造システムの開発と構造性能評価など、木造建築分野における耐震工学研究を牽引。国土交通省の社会資本整備審議会臨時委員、文部科学省の学校施設耐震化に関する委員などを務めるほか、日本建築学会副会長・災害委員会委員長など木造建築・耐震工学分野の発展に幅広く貢献している。



■大阪メトロ四つ橋線・中央線「本町駅」③出口より徒歩約5分
■大阪メトロ千日前線・中央線「阿波座駅」②出口より徒歩約5分
会場には駐車場、駐輪場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

主催 一般財団法人 大阪建築防災センター

後援 大阪府 大阪市 豊中市 堺市 東大阪市 吹田市 高槻市 守口市 枚方市 八尾市 寝屋川市 茨木市 岸和田市 箕面市 門真市 池田市 和泉市 羽曳野市 建築物防災推進協議会